

Keiba Global Front Line

競馬グローバル・フロントライン

競馬の最前線で活躍する馬や人を紹介致します



合田 直弘

日本馬の海外遠征が当たり前になつたおかげで、日本のファンの間でもかなり浸透したのが、「アンティボストベット」の概念である。遠征計画が発表された段階ですなわち、レース当日まで半年近い日時があるというのに、「マカヒキは現在、13～17倍のオッズで4～10番人気」という報道があるのは、ブックメーカー各社が売り出している「アンティボストベット」があるゆえである。気の早い社になると、昨年の凱旋門賞が終わつた時点で既に、今年の凱旋門賞へ向けた前売りを始めたという、実にスパンの長い前売り馬券が「アンティボストベット」である。

来年春の3歳クラシックへ向けた前売りも、当然のように既にスタートしており、今回のコラムでは、牡馬クラシック緒戦の英二千ギニーと、牝馬クラシック緒戦の英二千ギニーで、それぞれ1番人気に推されている(8月15日現在)馬をご紹介したい。

2017年5月6日(土曜日)に「ユーマーケット」で行われる英二千ギニー(芝8F)へ向けた前売りで、ブックメーカー各社が3.5倍から5倍のオッズを掲げて1番人気に支持しているのが、カラヴァアッジヨ(牡2、父スキャットダディ)である。

北米産馬で、G2ギャラントブルームH(d6, 5F)勝ち馬マイエイ(父フサイチペガサス)の半弟に当たる同馬。クール

イダン・オブライエン厩舎に入厩。4月18日という早期デビューを果たし、ダンドークのメイドン(AW1000m)を1.3/4馬身差で制し緒戦勝ち。2戦目となつたカラの準重賞マークヒルS(芝5F)を2.4馬身差で制すると、続くロイヤルアスコットのG2「ヴェントリーS(芝6F)」を2.1/4馬身差で制し、3連勝で重賞初制覇。4戦目となつたのが、8月7日にカラで行われたG1「エニックスS(芝6F)」で、ここを4馬身差で制して4戦無敗のG1制覇を果たしている。

当初は、早熟で仕上がりの早さを活かして勝ち上がりつて見方があつたの

だが、レースを重ねることに2着以下との差を広げ、走るたびに評価を高めているのがカラヴァアッジヨだ。昨年12月に11歳で早世した父は、現役時代に9FのG1「フローリダダービー」を制しているが、これまで欧洲で走つた産駒には短距離馬が多く、今後は距離延長が鍵となりそうだ。次走は、

8月21日にドーヴィルで行われるG1モルニー賞(芝1200m)か、9月24日に二ユーマーチケットで行われるG1ミドルパークS(芝6F)が予定されている。

と言われるフランケルの子供だけに、フェ

アイーヴァにかかる期待も果てしなく大きい。次走は、8月18日にヨークで行われるG2「ウザース(芝6F)」が予定されている。

モアグループが庭先で購買し、愛国の大イダン・オブライエン厩舎に入厩。4月18日という早期デビューを果たし、ダンドークのメイドン(AW1000m)を1.3/4馬身差で制し緒戦勝ち。2戦目となつたカラの準重賞マークヒルS(芝5F)を2.4馬身差で制すると、続くロイヤルアスコットのG2「ヴェントリーS(芝6F)」を2.1/4馬身差で制し、3連勝で重賞初制覇。4戦目となつたのが、8月7日にカラで行われたG1「エニックスS(芝6F)」で、ここを4馬身差で制して4戦無敗のG1制覇を果たしている。

当初は、早熟で仕上がりの早さを活かして勝ち上がりつて見方があつたのだが、レースを重ねることに2着以下との差を広げ、走るたびに評価を高めているのがカラヴァアッジヨだ。昨年12月に11歳で早世した父は、現役時代に9FのG1「フローリダダービー」を制しているが、これまで欧洲で走つた産駒には短距離馬が多く、今後は距離延長が鍵となりそうだ。次走は、

8月21日にドーヴィルで行われるG1モルニー賞(芝1200m)か、9月24日に二ユーマーチケットで行われるG1ミドルパークS(芝6F)が予定されている。

カラシック本命馬たちの今後の動向と、それにもなう前売りオッズの変化に、皆様もぜひご注目いただきたいと思う。

セスマーガレットS(芝6F)に駒を進めただが、レースを重ねることに2着以下との差を広げ、走るたびに評価を高めているのがカラヴァアッジヨだ。昨年12月に11歳で早世した父は、現役時代に9FのG1「フローリダダービー」を制しているが、これまで欧洲で走つた産駒には短距離馬が多く、今後は距離延長が鍵となりそうだ。次走は、

8月21日にドーヴィルで行われるG1モルニー賞(芝1200m)か、9月24日に二ユーマーチケットで行われるG1ミドルパークS(芝6F)が予定されている。

カラシック本命馬たちの今後の動向と、それにもなう前売りオッズの変化に、皆様もぜひご注目いただきたいと思う。